

学校通信 誠実

中央市立田富中学校
学校だより（学校通信）
発行 校長 丹澤 博
令和4年度 7月号
2022.7.15（金）

元ラグビー-日本代表 浅原拓真さん来校 ～人生意気に感ず～

6月27日（月）、本校を2002年度に卒業した浅原拓真さんに来校いただき、インタビュー形式の講演会を実施しました。成功体験だけではなく、「うまくいかない時、くじけそうな時、どのように対応したか。」など、浅原さんの考え方の根本になるところを話していただきました。聴く態度や質問も素晴らしく、取材に来ていたテレビ局の方が「いくつかの学校に講演会の取材に出掛けているが、こんなに夢中に聴き、自分の言葉で質問できた学校はない。」とほめてくださいました。帰り際、浅原さんは「今までずっと突っ走ってきました。初めて自分を振り返って大変勉強になりました。しかも、母校でできて良かったです。」と話してくれました。翌日、全校生徒の手紙をお渡ししました。「全員がこんなに書いてくれたんですか！」と大変感激されていました。手紙を読みながら「田富中らしいですね。俺もこうだったですね。」と懐かしそうに話してくれました。



浅原さんへのお礼の手紙です。4名紹介します。

3年 長坂桃音さん 『先輩』

今日はお忙しい中、田富中に来てくださり本当にありがとうございました。日本代表の選手に会えるなんて夢のようでした。でも、日本代表になるためにはたくさんのつらい経験をしてきたんだなと思いました。浅原選手は自分に自信がありポジティブで、私も浅原選手のような前向きな人になりたいです。大会などで失敗して夜も眠れない時もあると言っていました、次の朝には切り換えていさすがだなと思いました。浅原選手が言っていた「今の自分がいるのは昔の自分があるからだ。」の言葉が刺さりました。私も勉強を頑張って大人の自分に浅原選手の言葉を言ってもらえるように頑張ります。そして、家族・友達・先生に感謝を忘れずにいたい。ありがとうございますの言葉が一番いい言葉だと私も思います。私もみんなから尊敬される人になります。これからの活躍、応援しています。

2年 大沼心音さん 『前向きな気持ち』

今日の浅原選手の話聞いて自分もこうなりたいと思うことができました。それは「前向きな気持ちをもつこと」です。私はネガティブで前向きな気持ちになることはほとんどありません。いつも「成功する方法」というより「失敗しない方法」ばかりを考へうまくいく確信がなければチャレンジしようと思いませんでした。それに一度落ち込んでしまえば何日も心が晴れない日を送っていました。だけど浅原選手の言葉を聞き、前向きですごく素敵だなと思いました。前向きだったら全てもううまくいくわけなくても、前向きでいなければうまくいかないかもしれないと思いました。また、自信をもつことも素晴らしいと思いました。なぜなら自信は自分の努力からできるものだと思うからです。自信がある時とない時では気持ちが大きく変わると思うから、私も自信が持てるよう日々の努力を怠らず、頑張りたいと思いました。自分なりに努力し成長したいと思いました。

3年 中野霏海さん 『これからの未来』

今日は田富中に来ていただきありがとうございます。ラグビー選手としての夢をかなえたいと、あきらめずに努力した浅原さんの姿勢はすごいなと思いました。私にも小さな夢がありますが姿勢が違うなと思いました。私はダンスを習っていたのですが、勉強との両立が難しいと思い、やめてしまいました。でも、今日の話聞いて、いろんなことに挑戦したいと思いました。ダンス部のある高校に進学したいとも思いました。私も浅原さんのように「自分を信じて」自分の進みたい道に進もうと思います。卒業の時には笑顔で終われるよう、自分に素直になって進路を決定したいです。つらいことがあってもその先に明るい未来があると信じて乗り越えたいです。無理はせず、泣きたいときは泣く、笑いたいときは笑う。自分の未来のために頑張ります。

3年 樋口 諒さん 『自分を信じて頑張ります！』

今日は私たちのために、良い講演をしていただきありがとうございます。校長先生が浅原さんのことを「素直」と何回も言ってたけれど、浅原さんの優しい話し方や笑顔を見て、とても明るくて誰にでも優しい人なんだと思いました。部活や勉強でつらいことがあっても自分を信じて目の前にある目標に100%の力で取り組んでいこうと浅原さんの話を聞いて思いました。3年生なのでもうすぐで部活は引退です。引退試合まで誰よりも多く練習し、悔いが残らないようにしたいと思います。中学校を卒業する時には、3年間支えてくれた両親や先生方・友達にしっかりと感謝を伝え、自分の道に進んでいきたいです。卒業するまでに大変なことが沢山あると思うけど、いやなことがあった日は落ち込んで、でも、次の日からは気持ちを切り替えて頑張っていきます。これからも素敵なお人柄で頑張ってください。田富中から応援しています。とても良い経験になりました。

一学期を振り返って

一学期も残り少なくなりました。本校の生徒は、感染症対策に心がけ、授業・生徒会活動・部活動・校外学習等の様々な体験を通して、それぞれの良さを発揮し充実した学校生活を送ってくれたと考えています。特に、3年生は、さすが学校の顔です。授業に向かう姿勢・部活動への取り組み・学園祭に向けての準備と、1・2年生を後ろ姿でリードしてくれています。

↓ 修学旅行の様子はすでにお知らせしました。1・2年生の校外学習の様子です。



1年生「高遠宿泊学習」の様子です。小学校時代とは違った集団生活を送るために必要なことを学べたのではないかと考えています。2学期に入るとすぐに「青雲祭」があります。集団活動の楽しさ、逆に難しさを体験することになると思います。初めての「青雲祭」が1年生一人一人にとって充実したものになることを期待しています。

2年生「県内めぐり」の様子です。どの生徒の表情も輝いていて、来年度の修学旅行も素晴らしいものになるのではないかと期待しているところです。集団生活、授業の様子も大変落ち着いていて、学びも深まりつつあります。青雲祭では、学年評議会や各学級の取り組みを生かし、昨年度から一歩前進した「青雲祭」になることを期待しています。

夏休みは疲れをとりリフレッシュすることも必要でしょう。一方、授業が進んでいない長期休業中だからこそ、気になっていたことを調べたり、試験等で間違えてしまったところや不安だったところを勉強するチャンスでもあります。一人一人が努力し、一段と成長した姿で2学期の始業式を迎えられることを期待しています。

中巨摩総体(陸上競技の部)・通信陸上他

	中巨摩総合体育大会(陸上競技の部) 日世南アルプススタジアム
陸上部(男子)	内藤流唯斗 共通男子100m4位 前田拓夢 共通男子走高跳1位 杉山侑希 共通男子走幅跳2位 佐野蒼真 2年男子800m3位 八巻一飛 2年男子3000m4位 佐久間虹汰 2年男子走幅跳2位 小倉玲音 2年男子砲丸投5位 齋藤陸玖 1年男子1500m5位 成澤武琉 1年男子1500m6位 1年男子4×100mR8位 ※6位まで県総体出場(リレーは3位まで)
陸上部(女子)	佐野愛実 共通女子100m3位・200m3位 樋口諒 共通女子100mH7位 國吉レナ 共通女子走幅跳7位 河西悠風 2年女子100m3位 小林愛 2年女子100m5位 齋藤よしの 2年女子800m3位 田中成葉 2年女子100mH3位 山田若葉 2年女子走高跳5位 共通女子4×100mR6位 ※6位まで県総体出場(リレーは3位まで)

通信陸上 JITリサイクルインクスタジアム	6月23日(木)中巨摩総合体育大会(陸上競技の部)、7月2日(土)・9日(土)に通信陸上競技大会が実施されました。共通男子走り高跳びに出場した前田拓夢さんは1位になり、神奈川県で行われる関東大会への出場を決めています。県総体では全中への出場をかけ、標準記録突破を狙っています。また、7月9日(土)に行われた卓球県選手権大会で宮川大樹さんが3位になり、関東大会出場を決めています。
前田拓夢 共通男子走高跳1位 杉山侑希 共通男子走幅跳7位 齋藤陸玖 1年男子走幅跳5位 内藤流唯斗 3年男子100m8位 1年男子4×100mR4位	
佐野愛実 3年女子100m4位・共通女子200m7位 小林愛 2年女子100m6位	

芸術鑑賞教室



← 7月12日(火)青洲高校音楽部、本校卒業生で合唱指導者の五味貴秋氏をピアノ伴奏者としてお招きし「芸術鑑賞会」を実施しました。愛唱歌から天才作曲家と言われる三善晃さんの作品まで幅広く演奏していただきました。今学期、ソーシャルディスタンスを考慮し行事を行ってまいりました。青雲祭に向けて、文化部門(体育館で実施)について、特に3年生の保護者の参観が少しでも可能にならないか、検討しているところです。青雲祭の参観等については、文化部門・体育部門とも今後の感染状況を踏まえて判断する必要がありますが、お知らせが8月下旬になってしまうことをお許しください。